



PLUS ULTRA

HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 平成29年3月31日発行



▲卒業式での学校長式辞

関東大会への出場を決めた生徒たち▶

▼全国選抜大会への出場を決めた生徒たち



平成29年

3/31

第54号

- 「贈る言葉」 学校長 岡部 宣男 2ページ
- 卒業生に贈る言葉 3ページ
- 学窓の思い出・予餞会 4~5ページ
- 進学状況・就職状況 6~7ページ
- 躍動する部活動 8~11ページ
- 白鷗大学だより 12ページ
- 本校舎トピックス 13ページ
- 富田キャンパストピックス 14ページ
- SSH活動報告 15ページ
- PTAだより・生徒会・他 16ページ



贈る言葉

白鷗大学足利高等学校長 岡部 宣男

586名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大きな希望と少しばかりの不安を胸に抱いて臨んだ入学式から早3年。この3年間は「あつという間の3年間だった」と言うのが正直な気持ちではないでしょうか。



本校舎

振り返ると、きつと様々な出来事がよみがえってくると思います。教室での授業、放課後の部活動、生徒会活動や学校行事など、一人ひとりが一所懸命になつて力を注いできました。時に厳しく、時に苦しく感じたこともあるかもしれませんが、しかし、その一つひとつが皆さんの財産です。

皆さんは希望する進路を実現するために、学校でも家庭でも、自らの課題解決に向けて懸命に努力してきました。また、SSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）二期生として、これからの社会で必要とされる、自らの課題を見つける力、課題解決のために必要な知識を獲得する力、そしてそれをまとめ、発表する力を養ってきました。皆さんの努力の結晶である課題研究や研究発表は、着実に後輩に受け継がれています。受験期のつらい中でも「受験は団体戦だ」、「一人ひとりが相手を思いやるのが成功につながる」と言い切れるほどに成長しました。

部活動では、日々、目標に向かい練習してきました。しかし、時には思うような結果が出せずに悩み、怪我に泣くこともあったことでしょう。それでもくじけず、仲間や家族に支えられ、よく努力しました。陸上部は全国高校女子駅伝競走大会に3年連続出場、ボクシング部は全日本女子ボクシング選手権大会ライトフライ級優勝、



各コースの総代の生徒たち

活躍は校内の大きな話題となりました。その他の運動部や文化部も多く的好成绩を残し、学校の機運を盛り上げてくれました。表彰式では関東大会や全国大会で活躍した90名の生徒たちが、理事長賞や校長賞を受賞しました。その中の27名は栃木県高体連や高文連からも、3年間の弛みない努力を讃えられ、表彰されました。今後は大学や実業団でさらに研鑽を積み、2020年の東京オリンピック出場を目指してください。学校行事では、皆さんのパワーと情熱を感じました。その中でも特に印象的だったのは、一昨年の「白鷗祭」、昨夏の「富キャン祭」です。3年に一度の文化祭で誰もが初めての経験のため、手探り状態での準備だったにもかかわらず



富田校舎

女子剣道部は創部以来50年目にして、初の個人戦全国大会出場を果たしました。こうした女子生徒の

らず生徒会を中心に、労を惜しまず真摯に取り組み、イベントを成功させました。皆さんにとって大切な思い出の一つになったことでしょう。この4月から皆さんは、新しい環境の中、それぞれの進路で目標に向かって、生活していくこととなります。昨夏の参議院選から選挙権年齢が18歳に引き下げられ、歴史的な一票を投じた人もいると思います。選挙権を持った主権者として政治参加を求められるということは、これからの日本の方向が未来を生きていく皆さんの肩にかかっているということを感じなければなりません。21世紀の変化の激しい社会を生きていくには、今まで培ってきた知識と技能、自分にとって大切なものを考える判断力、そして底力のある人間力、他人への優しさ溢れる社会性を身につけなければなりません。その上で、先人の夢や努力、悔いを受け継ぎ、互いに助け合う幸せな社会を築くことが皆さんに課せられた使命です。一人ひとりが、これからの時代を任せられたことを自覚して、益々精進されることを願っています。

最後に、新たな道を進む卒業生の皆さんに、私の好きな言葉を贈ります。「美しい花には、かくれた根の力がある」

卒業生に贈る言葉

会話の大切さ

教頭・普通部長 長谷川 嘉明



ご卒業おめでとうございます。3年間の課程を終え、学舎から巣立とうとしている卒業生の皆さんには「会話の大切さ」を改めて知ってほしいと思います。

今、日本人の会話能力が諸外国の人に比べて低いことが問題になっていきます。電子機器等の発達に伴い、親子間・友人間での会話自体が減少していることが大きな要因と考えられます。しかし、会話能力を高めることによって、得られるものはたくさんあります。話す時には主語・述語を入れたり、主張したことの理由を述べたり、当たり前のようですが、会話するにはこのような基本的なことが重要です。また、5W1Hを上手に使うことで、相手に具体的かつ正確に伝えることができます。しっかりとした会話ができるようになれば、文章を書くことや論理的に考えることにも対応できると思います。

さらなる飛躍を

教頭・進学部長 中戸 康平



卒業おめでとうございます。今、グローバル化の後退に伴う保護主義や排外主義の傾向が強まり、益々テロや難民の問題が深刻化する混沌とした国際情勢の中、皆さんは新たな夢や目標を胸に勇躍し、それぞれの道へ次の一歩を踏み出そうとしています。偉大な記録を幾つも残しているイチロー選手は、「夢や目標を達成するために小さなことを積み重ねる以外に方法はない。小さなことを積み重ねることが、とんで

ハードボイルドの勧め

文理部長 須藤 敏哉



私はハードボイルド小説が好きで、大沢在昌をよく読みます。その大沢氏が「ハードボイルドとは側隠の情である」と語っており驚きました。「側隠の情」とは孟子の言葉で、「相手の立場に立つて

50年後の笑顔

商業部長 柿沼 清孝



創立100周年記念式典に在校生の代表として出席し、理事長先生から、150周年記念式典への招待を約束された卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。充実した3年間が送れましたか？送れたという人、新たな環境下でも夢や目標を持ち、更なる高みを目指して頑張ってください。そうではなかったという人、人生まだまだこれからです。若いうちの失敗は、いくらでも取り返せます。諦めることなく挑戦して

物事を感じ取る心」という意味です。ハードボイルドに、クールで非情な主人公が自分の主義・信念を貫いて生きていくイメージを持つていた私は、その根底に側隠の情があるという大沢氏の言葉がとても意外だったのです。ハードボイルドなんて無縁と思う人も多いでしょうが、最近よく耳にする「自分らしく生きる」とは、言い換えれば「自分の主義・

創立100周年記念式典に在校生の代表として出席し、理事長先生から、150周年記念式典への招待を約束された卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。充実した3年間が送れましたか？送れたという人、新たな環境下でも夢や目標を持ち、更なる高みを目指して頑張ってください。そうではなかったという人、人生まだまだこれからです。若いうちの失敗は、いくらでも取り返せます。諦めることなく挑戦して

信念を貫いて生きる」まさにハードボイルドなのです。そして大沢氏の言葉は、「側隠の情」こそ「自分らしく生きる」を「自分勝手に生きる」にしない重要なポイントなのだと理解しました。これから皆さんは、多くの壁にぶつかり、多くの挫折を経験することでしょう。それでもなお自分を貫こうとする強さと、側隠の情の両方持ち続けて下さい。ハードな人生の主人公は皆さん一人ひとりなのですから。



学窓の思い出



卒業生総代答辞
文理3年3組 松本 瑠美子さん(城西中)

早稲田大学 文学部



特別選抜コース
3年 1組
小沼 俊範
(太田南中)

光陰矢の如しと言うように、思い返してみると私の高校生活もあつという間だったように感じますが、新品の制服の袖を余らせていたころに比べるとずいぶん成長することのできた3年間でした。入学当初は仲良くやっていたけれど不安だったクラスメートとも、たくさんの学校行事、特に合唱祭などを通して意気投合することができ、卒業して別れることが惜しいほど仲良くなった友達がたくさんできました。受験の際、とても緊張している私を幾度となく重圧から救ってくれた友人たちには感謝の気持ちでいっぱいです。今までより更に高次元となる大学での勉強は楽しみでもあり、ついでいけるか不安でもあります。

しかし、私の将来のためだけでなく、友達や、私のために尽力してくださった先生方への恩に報いるためにも、一生懸命に勉学に励んでいきたいと思っています。



進学コース
3年 2組
井本 千晶
(太田城東中)

群馬大学 社会情報学部 社会情報学科

本校で過ごした3年間の高校生活で私が真っ先に伝えたいことは「感謝」です。整った学習環境下で学べたことは、私の学力を向上させ、大きな飛躍に繋がりました。個性豊かで頼もしいクラスメートと互いに切磋琢磨しながら送ることができた日々は、とても楽しく充実したものでした。「大学合格」という一つの目標に向って共に励んでこられたことを、本当に嬉しく思います。

また、受験の時にはたくさんの人に支えていただきました。夜遅くまで親身に指導してくださった先生方や、私を気遣い応援してくれた友人や家族。たくさんの鼓舞激励のおかげで、辛い受験期を乗り越えることができました。心から感謝しています。大学進学後も、本校で学んだことを生かし、「さらに向こうへ」

進んでいけるように日々精進していきたいと思います。3年間本当にありがとうございました。



中高一貫教育コース
3年 1組
梅澤 聖太
(白鷗足利中)

獨協医科大学 医学部 医学科

私は中高一貫教育コースの第一期生として3年前に、富田キャンパスで高校課程の学習をスタートさせました。私たちのコースは、医学科進学を目指して設置されたため、原則として医学科への進学が全員の目標となりました。少人



普通コース
3年 3組
高根澤 明花
(西那須野中)

陸上自衛隊

入学前の私は、泣き虫で根性がありませんでした。そんな私を変えてくれたのは、ソフトボール部の顧問の先生方や仲間でした。何も出来なかった私に、技術的なことや人として当たり前のことを細かく教えていただきました。それらの指摘を「怒られている」ではなく「自分が成長できるチャンス

数のクラスで、互いに切磋琢磨し、中学校課程も含めて6年間学習中心の生活を送ってきましたが、合唱祭、体育祭、SSH研究活動、ハワイ語学研修など、学習面だけでなく、人間的に成長できる学校行事もたくさん経験しました。中でも、ハワイ語学研修では、ホームステイを体験し、現地の文化に触れることで、改めて自国の文化を再確認できました。

私は、幸運にも医学科進学を果たすことが出来ましたが、これは両親や先生方、友人たちの支えがあったから実現したのだと思っています。感謝の気持ちを忘れず、これからも日々邁進したいと考えています。

だ」と考えるようにしてからは、素直に受け止めることができるようになりました。それまでマイナス思考だった私が、プラスに考えられるようになり、さらに新しいことに挑戦したいと思うようになりました。また、仲間との練習や、一緒に寮生活をしていくことを通して、何かをする時にどんなに小さくても目標を立てて行うようになりました。卒業後の人生も楽しいことばかりではないと思いますが、本校で学んだことを生かしていきたいと思っています。

3年間ありがとうございました。



青山学院大学
法学部法学科
文理進学コース
3年 4組
鶴貝 彪雅
(坂西中)

青山学院大学 法学部法学科

本校で過ごした3年間は、私を大きく成長させてくれました。

私は運動部特待生として陸上競技部に所属していました。本校は県内屈指の強豪校ということもあり、想像以上の練習量で勉強との両立に不安を感じていた時期もありました。しかし、悩んでいた私を陸上部の仲間や周りの先生方、そして両親が支えてくれました。たくさんの人たちが叱咤激励してくれたおかげで、目標を見失うことなく部活動と勉強の両立を成し



卒業生呼名点呼

遂げることができました。支えてくれた人たちがいたからこそ、充実した高校生活が送れ、無事第一志望の大学にも合格することができました。目標に向けて、前向きに努力することの大切さを学んだ3年間であり、幸せな時間を過ごすことができました。

周りの人々への感謝の気持ちを決して忘れず、これからも明確な目標に向かって努力していきたいと思えます。本当にありがとうございました。



総合選択コース
3年 1組
羽廣 紗輝
(太田北中)

株式会社 SUBARU (旧 富士重工業株式会社)

私にとって白鷗で過ごした3年間はとても充実しており、毎日が大切な思い出となりました。

私は、将来の生活にも役立つと思い、2年生でライフエリアを選択しました。そして、浴衣や子供服などの衣服の作り方、赤ちゃんの着替えやお風呂の入れ方、調理実習ではテーマを決めてテーブルセッティングを行うなど、様々な勉強をしました。2年生での学習発表会では、自分でリメイクした服や製作した浴衣を着てファッションショーを行い、充実感と達



在校生総代送辞
文理2年4組 小林 弘明君 (太田北中)

成感を味わうことができました。ライフエリアでの学習を通じて、最後までやり遂げる大切さを学び、自分で何かを作る喜びを感じることができました。

私はこれから社会人となりますが、白鷗で身につけたことを実生活にも生かして、頑張っていきたいと思えます。素敵な仲間や先生方に恵まれて楽しい高校生活を送ることができたことを本当に感謝しています。

3年間ありがとうございました。



商業コース
3年 1組
宮永 愛里珠
(坂西中)

株式会社 足利銀行

高校生活の中で私を特に成長させてくれたのが部活動です。私は3年間ソフトボール部に所属していました。「七転八起」を3年間のモットーとして日々過ごし、何

事も粘り強く取り組んできました。部活動を通して協調性を培い、人との繋がりや誰かのために尽くすことの大切さに気付くことが出来ました。毎朝の清掃で地域の人達との会話も増え、地元で地域に密着した仕事をしたいと思うようになりまりました。

予餞会



1月30日、本校舎新体育館で予餞会が行われました。

今年の予餞会は、生徒の出演のみで、シンプルながらも自分たちらしさが光る手作りの会となりました。「MOANA」「シンセイソラト」「ワイルドファンゲ」

「GOOD DAY +」「白鷗魂」「Distance」と演奏や歌が続き、長井先生の演奏と加藤先生の美声のコラボがさらに館内を盛り上げました。バトントワリング部の「千本桜」の演技に続き、「琉愛」「ワタシタチナリニガンバリマス」と軽快なダンスがあり、再びバトントワリング部が「Love myself」で、取りを飾りました。その後、生徒会役員が編集したスライドショーで、3年生の高校生活を全員で振

で指導してくださった先生方のおかげで沢山の資格を取得することができ、恵まれた環境で勉強が出来たことを実感しています。

私は4月から社会人となります。本校で学んだことを生かし、目標に向かって更に努力していく覚悟です。先生方、共に切磋琢磨してきた仲間たち、素晴らしい3年間を本当に有難うございました。心から感謝しています。

り返りました。

最後に、校歌を高らかに大合唱し、会を閉じました。途中、校長先生からのサプライズで有名人の色紙プレゼントがあり、さらに歓びの声が沸き起こりました。3年生をはじめ生徒にとっては、高校生活の良い思い出の1ページになったことと思います。



演技を披露するバトン部員

| | | | |
|------------|------|----------|----|
| 白鷗大学 | 281名 | 明海大学 | 1名 |
| 成城大学 | 4名 | 目白大学 | 2名 |
| 明治学院大学 | 5名 | 平成国際大学 | 4名 |
| 芝浦工業大学 | 3名 | 共栄大学 | 3名 |
| 自治医科大学 | 2名 | 浦和大学 | 1名 |
| 北里大学 | 3名 | 女子栄養大学 | 1名 |
| 明治薬科大学 | 2名 | 日本薬科大学 | 7名 |
| 星薬科大学 | 2名 | 武蔵野学院大学 | 2名 |
| 獨協大学 | 14名 | 人間総合科学大学 | 2名 |
| 國學院大学 | 4名 | 神田外語大学 | 4名 |
| 東邦大学 | 4名 | 国際武道大学 | 1名 |
| 東洋大学 | 11名 | 千葉工業大学 | 2名 |
| 日本大学 | 14名 | 千葉科学大学 | 1名 |
| 駒澤大学 | 4名 | 亀田医療大学 | 1名 |
| 専修大学 | 5名 | 亜細亜大学 | 1名 |
| 北海道文教大学 | 1名 | 桜美林大学 | 1名 |
| 岩手医科大学 | 1名 | 大妻女子大学 | 1名 |
| 東北福祉大学 | 1名 | 共立女子大学 | 2名 |
| 東日本国際大学 | 1名 | 杏林大学 | 2名 |
| つくば国際大学 | 2名 | 産業能率大学 | 2名 |
| 流通経済大学 | 2名 | 実践女子大学 | 1名 |
| 足利工業大学 | 7名 | 昭和大学 | 1名 |
| 国際医療福祉大学 | 5名 | 昭和女子大学 | 3名 |
| 作新学院大学 | 1名 | 昭和薬科大学 | 1名 |
| 文星芸術大学 | 1名 | 女子美術大学 | 1名 |
| 関東学園大学 | 2名 | 創価大学 | 2名 |
| 上武大学 | 4名 | 大東文化大学 | 3名 |
| 東京福祉大学 | 4名 | 玉川大学 | 4名 |
| 高崎健康福祉大学 | 4名 | 帝京大学 | 7名 |
| 群馬医療福祉大学 | 3名 | 帝京科学大学 | 1名 |
| 共愛学園前橋国際大学 | 4名 | 東海大学 | 5名 |
| 群馬ハイス大学 | 3名 | 東京有明医療大学 | 1名 |
| 桐生大学 | 3名 | 東京家政大学 | 4名 |
| 跡見学園女子大学 | 1名 | 東京経済大学 | 2名 |
| 埼玉医科大学 | 1名 | 東京工科大学 | 4名 |
| 埼玉工業大学 | 2名 | 東京工芸大学 | 1名 |
| 城西大学 | 6名 | 東京電機大学 | 5名 |
| 駿河台大学 | 1名 | 東京農業大学 | 4名 |
| 東京国際大学 | 3名 | 東京薬科大学 | 3名 |
| 日本工業大学 | 2名 | 文京学院大学 | 1名 |
| 文教大学 | 11名 | 二松学舎大学 | 1名 |
| | | 日本歯科大学 | 2名 |

| | | | |
|-------------|----|------------|----|
| 足利短期大学 | 2名 | 佐野日本大学短期大学 | 7名 |
| 国学院大学栃木短期大学 | 5名 | 関東短期大学 | 1名 |
| 川口短期大学 | 1名 | 埼玉純真短期大学 | 3名 |
| 埼玉女子短期大学 | 1名 | 昭和学院短期大学 | 1名 |
| 帝京短期大学 | 1名 | 山野美容芸術短期大学 | 2名 |
| 新渡戸文化短期大学 | 2名 | | |

〔短期大学合格者〕 **26名**

| | | | |
|--------|----|--------|----|
| 東京都立大学 | 1名 | 武蔵野大学 | 2名 |
| 立正大学 | 4名 | 麻布大学 | 1名 |
| 神奈川大学 | 3名 | 関東学院大学 | 2名 |
| 桐蔭横浜大学 | 1名 | 横浜薬科大学 | 1名 |
| 金沢工業大学 | 1名 | 山梨学院大学 | 2名 |
| 健康科学大学 | 1名 | 常葉大学 | 1名 |
| 京都女子大学 | 2名 | 大阪商業大学 | 1名 |
| 松山大学 | 1名 | | |

〔専門学校合格者〕 **135名**

| | | | |
|----------------|----|----------------|------|
| 関東職業能力開発大学校 | 2名 | 群馬県立高崎産業技術専門学校 | 1名 |
| 栃木県立県南産業技術専門学校 | 1名 | 栃木医療センター付属看護学校 | 1名 |
| 獨協医科大学附属看護専門学校 | 5名 | 太田情報商科専門学校 | 11名 |
| 宇都宮ビジネス電子専門学校 | 3名 | 他専門学校等 | 111名 |

〔専門学校合格者〕 **135名**

| | | | |
|----------------|----|----------------|------|
| 関東職業能力開発大学校 | 2名 | 群馬県立高崎産業技術専門学校 | 1名 |
| 栃木県立県南産業技術専門学校 | 1名 | 栃木医療センター付属看護学校 | 1名 |
| 獨協医科大学附属看護専門学校 | 5名 | 太田情報商科専門学校 | 11名 |
| 宇都宮ビジネス電子専門学校 | 3名 | 他専門学校等 | 111名 |

就職状況

平成28年度を振り返って

今年度の本校への求人数は、緩やかに景気が回復しているため、昨年に引き続き県内外共に良好な状態でした。

9月から始まった就職試験（第一次）の内定率は、70%台後半でした。その後、10月上旬から各地で実施された合同面接会を経て、内定率も少しずつ上昇し、12月末

には90%台後半になりました。在校生には、現在の高校生の就職状況を把握し、就職試験で課される学力試験や面接試験に備えて基礎学力の向上に努め、部活動や資格取得に励み、自分の目標に向けて高校生活全般を見つめ直すことが求められています。

平成28年度の主な就職先

| 栃木県内 | | |
|-------------------|-------------|--------------------------|
| アキレス(株) | 社会福祉法人とちのみ会 | 日立ジョンソフコントロールズ(株) 栃木空調本部 |
| (株)足利銀行本部 | しのはら歯科クリニック | (株)深井製作所 |
| (株)あわしま堂 | (株)進恵技研 | 吉田テクノワークス(株) 足利生産センター |
| いずドライネックス(株) | 第一レジン工業(株) | 吉田プラ工業(株)足利工場 |
| 医療法人社団廣和会 両毛クリニック | (株)大協精工 | (株)吉野工業所栃木工場 |
| 遠藤食品(株) | (株)タツミ | 陸上自衛隊 |
| 菊地歯車(株) | 東京鐵鋼(株) | (株)レンタルのニッケン 足利オフィス |
| 共和工業(株)佐野工場 | 栃木県警察 | |

栃木県外

| |
|--------------------------------|
| 石井工業(株) |
| 佐川急便(株) |
| しげる工業(株) |
| (株)SUBARU 群馬製作所 (旧富士重工業株群馬製作所) |
| 館林市地区消防組合 |
| 筑西市消防本部 |
| 天昇電機工業(株) 群馬工場 |
| 東毛福祉事業協同組合 |
| (株)豊田自動織機 |
| (株)とりせん |
| 日野自動車(株) |
| (株)ヨシカワ |

躍進する部活動

祝 関東大会・国民体育大会出場

女子バスケットボール部

関東大会初出場「善戦するも1回戦で敗退」

女子バスケットボール部は、第72回栃木県バスケットボール新人大会において初優勝を飾り、2月11日・12日に、埼玉県久喜市で行われた関東大会に出場しました。

1回戦の相手である埼玉栄高校



関東大会初出場を決めた女子バスケットボール部員

は、本校チームよりも平均身長も高く、能力の高い選手が多いため、気持ちで負けないよう思い切ったプレーすることを目標に戦ってきました。試合序盤は好調で、一進一退の攻防が続きましたが、相手エースのインサイドを中心とした

攻撃に徐々にリードを広げられ、前半34対54で終了。後半は36対38と粘りましたが、前半の点差を埋めきれず、最後は70対92で敗れました。力の差を痛感した大会となりましたが、今後の課題も明確になりましたが、今後の課題も明確になり、一人ひとりのレベルアップの必要性を実感できました。

この経験を生かし、次の大会に向けて精進していきます。たくさん応援ありがとうございました。

バントワリング部

「アドバンテージ」

10月29日、千葉ポートアリーナで、第51回バントワリング関東大会が開催されました。バントワリング部は、9月の栃木県大会予選を第3位で通過しての出場でしたが、全国大会出場を目標にして演技に臨みました。演技タイトルは「医龍」。[TEARS OF DRAGON]のピッチ・ピッチ・ピッチという心電図の機械音で始まる曲のイントロと共に、緊迫したムードで演技が始まりました。1曲を通してバトンをとらずに演技するのはとても難しいのですが、ドロップしないままエンディング



第51回バントワリング関東大会・銀賞受賞

まで演技が進み、「ノードロップ」が一瞬頭をよぎりましたが、難度の高い技を入れたエンディングで落としてしまいました。結果は「銀賞」でしたが、銀賞受賞のチームの中では、最高点だったの、悔しさはありましたが、全国大会出場も夢ではないと強く感じることが出来ました。来年こそは、「金賞」を受賞し、全国大会に出場できるよう、日々努力します。

女子サッカー部

関東大会初出場

女子サッカー部は、10月29日、11月6日、茨城県鹿嶋市で開催された第12回関東高校女子サッカー秋季大会に、栃木県第4代表として出場しました。

1回戦の相手は東京都第3代表の都立飛鳥高校でした。強豪校と

して知られるチームとの対戦でしたが、生徒たちはあきらめることなく最後まで戦い抜きました。結果は、前半0対4、後半0対0、計0対4というスコアでしたが、この試合からたくさん学べることができました。チームが一丸となり、目標に向かって努力することの大切さや、周りの方々への感謝の気持ちなどを改めて感じることでできた大会となりました。

今後は、関東大会出場はもちろんのこと関東大会でも通用するチームになるべく、今回の経験を糧に、練習に励みたいと思います。応援ありがとうございました。



試合中の様子

硬式野球部

甲子園出場を目指して始動

10月22日、30日、栃木県宇都宮市の清原球場で、第69回秋季関東地区高等学校野球大会が開催されました。栃木県第3代表で出場し



二塁打を打つ 普通2年1組 益子 太吉君(日新中)

た今大会は、来春の選抜大会へ繋がる上、地元開催ということもあり、大いに盛り上がりました。1回戦は、群馬県優勝チームの前橋育英高校との対戦でした。序盤は、繋がりのある打線が爆発し、三回までに3点を得点。ゲームの主導権を握り、有利な試合展開となりました。その後は点を取っては取られるシーソーゲームとなり五回までに5対6と接戦の試合運びとなりました。終盤にチャンスこそ作るもあと1本が打てず、初戦敗退となりました。全国制覇の経験あるチームを相手に善戦するも初戦敗退という悔しい経験をしっかりと受け止め、来春、夏へと繋げていきたいと思えます。チームの結束を強化し、来夏の甲子園に栃木県代表として出場すべくさらに精進し、成長していきたいと思えます。たくさんのご声援ありがとうございました。

陸上競技部

来シーズンに期待

◆8月19日～21日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場において関東陸上競技選手権が開催されました。大学・社会人チームも出場する中で、女子4×100mリレーで、第3位入賞という好成績を残しました。

また、10月22日・23日には、埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で、関東高校選抜新人陸上競技大会が行われました。本校から出場した男子4×100mリレーが第2位に入賞したのをはじめ、男子4×400mリレー第6位、男子200mで普2の5茂呂柘汰君(栃木南中)が第6位に入賞するなどの活躍を見せました。この



関東選抜新人男子4×100mリレーメンバー

大会で、両リレーが入賞するのは、本校陸上部創部以来の快挙でした。◆11月19日、群馬県の伊勢崎市陸上競技場周回コースにて開催された関東高校駅伝大会には長距離ブ



先頭グループで5位を力走する
文理3年2組 金子 隼君(熊谷東中)

ロックから男子、女子の2チームが参加しました。男子は第5位入賞、女子は第9位でした。文2の2野澤綺花さん(市貝中)は、女子第3区の区間賞を獲得しました。男子は県大会の悔しさを晴らすかのような快走で、関東の強豪校がひしめく中で入賞することができました。



この秋の大会では、短距離ブロック、長距離ブロックともに好成績を残すことができ、来シーズンへの期待が膨らむ内容となりました。

ボクシング部

課題を見出した大会



普通コース
2年 3組
永吉 黎人君
(小山三中)



普通コース
2年 4組
酒井 遥さん
(鴻巣吹上中)

1月26日～2月19日、山梨県甲府市総合市民会館で、第5回関東高等学校ボクシング選抜大会、平成28年度第3回関東高等学校女子ボクシング選抜大会が開催されました。本校からは、バンタム級で普2の3永吉黎人君(小山三中)、女子ピン級で普2の4酒井遥さん(鴻巣吹上中)の2名が出場しました。試合は、接戦でしたがあと一歩及ばず、残念ながら全国選抜大会への出場を決めることはできませんでした。

今回の敗戦で得た課題を必ず克服し、悔しさをバネに来年度の試合に向けて練習に取り組み、3月に卒業した先輩や、自分自身に気持ちで負けないように日々努力を重ね、一回り大きく成長することを期待します。

第71回国民体育大会

2016希望郷 いわて国体

★★★出場者★★★

【水泳】

- 少年A 200m バタフライ
- 少年A 400m メドレーリレー
- 文3の1 塩島 広規君(赤見中)
- 少年A 200m 背泳ぎ
- 少年A 400m メドレーリレー
- 文2の2 高村 光希君(明治中)
- 少年A 100m 自由形
- 少年A 400m メドレーリレー
- 文2の3 細澤 知弘君(小山中)
- 少年B 100m 平泳ぎ
- 文1の4 中根 千聖君(足利中)

【陸上】

- 少年男子共通 5000m 競歩
- 文3の4 時田 優希君(三和中)
- 少年A 女子 3000m
- 普3の2 藤原 瑠奈さん(真岡中)

【女子ソフトテニス】

- 普3の2 久我奈々子さん(蕨郷中)
- 普1の2 福田真由子さん(今市中)

他の部活動も大健闘

【写真部】

第38回栃木県高等学校総合文化祭写真展 奨励賞

文2の3 石原 綾乃さん(玉村中)

【書道部】

第5回佐久全国臨書展

特選

総3の2 横山 桃圭さん(常盤中)

秀作

- 普3の1 生方 清大君(加須平成中)
- 文3の2 峰岸希菜子さん(田沼東中)
- 総3の2 尾花真梨江さん(田沼西中)

佳作

文3の2 高村野乃佳さん(東陽中)

【吹奏楽部】

栃木県ソロコンテスト(トランペット) 銀賞

総1の2 島田 笑里さん(太田南中)

【栃木県新人大会】

- 女子バレーボール部 第3位
- 男子バスケットボール部 第4位
- 剣道部 男子団体 第3位

TOEICで955点獲得!!



文理進学コース
2年 4組
小林 弘明君
(太田北中)

文2の4小林弘明君(太田北中)がTOEICで、955点を獲得しました。990満点のこの試験では、大学生や一般人でも高得点を取るの難しいとされており、小林君の結果は本当に素晴らしいものです。

小林君は、インターアクト部に所属しボランティア活動に参加しながら、英語同好会を立ち上げたり、SSH活動でも中心的役割を務めたりと、日々精力的に活動しています。また現在は生徒会長を務め、本校発展のために日々努力しています。

このように様々な活動をしている中でも、向上心を持ち勉学に励んでいる小林君の今後の活躍が期待されます。

全国大会

ボクシング部
全日本女王誕生！

12月21日～25日、愛媛県多々羅しまなみドームで第15回全日本女子ボクシング選手権大会が開催されました。本校からは、女子ライトフライ級で普3の2小倉あずささん（赤見中）が出場しました。山形県代表の選手との初戦。小



全国征覇を成しとげた小倉さん

倉さんは、持ち前の勘の良さでタイミングの良さでパンチをヒットさせ、1RでTKO勝ちを取めました。続く2回戦と準決勝は、得意の左ストレートと右フックで試合のペースをつかみ、ポイント勝ち。決勝戦では、大阪代表の選手と戦い、今までの集大成となる試合内容で相手を圧倒しました。気力・体力共に充実し、距離・タイミング・スピード、全てにおいて納得のいく動きで勢いに乗った小

ボクシング部・陸上競技部・女子ソフトボール部・女子ソフトテニス部・水泳部・男子ソフトボール部・柔道部・書道部

倉さんは、念願の全国チャンピオンに輝きました。関東大会を2度制覇している小倉さんは、負けん気が強く、休まず練習に励み努力を重ねてきました。努力を積み重ねて掴んだ全国チャンピオン、本当におめでとう。

陸上競技部
全国高校女子駅伝 3年連続出場

12月25日、京都市・西京極陸上競技場を発着とするコースで第28回全国高校女子駅伝競走大会が行われ、本校の女子チームが3年連続で出場を果たしました。県予選会の勝利から、徐々に調子を上げて臨んだ本レースに、2年前に本校が初出場でマークした県勢最高順位の更新を目指して挑みました。

花の1区は、昨年に引き続き普3の2藤原瑠奈さん（真岡中）が務め、やや設定から遅れながらも目標射程圏内の23位で2区の文3の3穴戸梨夏さん（八千代一中）に襷を繋ぎ、浮上のきつかけを作ろうと懸命の力走を見せました。しかし、第3グループの流れにはまり目標順位グループから、じりじり離される厳しい展開となりました。その後、3区の文2の2野澤綺花さん（市貝中）、4区の文

1の2飯田亜弥さん（田沼西中）が粘りの力走を展開し、最終5区では文2の4飯塚唯さん（佐野南中）が積極果敢に前を追い及ぼしたが、終盤で力尽き、最終的にはやや順位を下げて、無念の26位でのゴールとなりました。

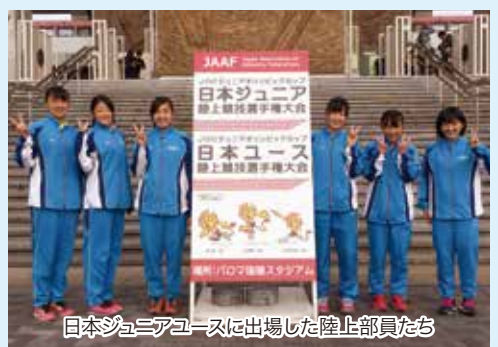
今回の大会で、まだ全国で勝負する意識と力が足りないことを痛感しました。立て直して来年の再挑戦を誓います。



全国高校女子駅伝 3区を力走する野澤さん

◆日本ジュニア・ユース 陸上競技選手権大会

10月21日～23日、愛知県名古屋市パロマ瑞穂スタジアムで日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会が開催されました。本校からは、普2の5笹沼若奈さん（佐野北中）が100mユースハードルに出場したほか、女子4×100mリレーに笹沼さん、普2の2成瀬絢音さん（佐野北中）、普2の4南部千尋さん（栃木西中）、普1の2野口朝陽さん（佐野城東中）のオーダーでリレーチームが出場しました。この大会は、学年



日本ジュニアユースに出場した陸上部員たち

制限だけでなく、高い標準記録を超える必要もあるため、全国高校総体よりもレベルの高い大会となります。結果としては予選落ちとなってしまうましたが、関東選抜新人大会で活躍した男子短距離とともに女子短距離も来シーズンの活躍が期待できる内容となりました。

女子ソフトボール部
敗戦を乗り越えて

3月18日～21日、兵庫県加古川市において第35回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会が開催されました。1回戦は、岩手県花巻東高等学校と対戦しました。後攻めでスタートした試合は、ライズボールで打者を打ち取り、好スタートを切りました。しかしボールが徐々

に甘くなった途端長打を許し、三回に1点、四回にも追加点を与えてしまいました。その後、商2の1生田目涼加さん（黒田原中）のホームランで1点を取り返したものの、1対5の大敗を喫しました。今大会の結果を真摯に受け止め、目標や課題に対する努力を積み重ね、夏のインターハイを目指して更に精進します。応援してくださいました多くの方々



力投する 商業2年1組 高宮 麻佑さん（黒羽中）

- 【出場メンバー】**
- 普2の1 千賀 亮佳さん（佐野南中）
 - 普2の3 笹沼 穂香さん（野崎中）
 - 普2の5 金久保多恵さん（西那須野中）
 - 商2の1 生田目涼加さん（黒田原中）
 - 商2の1 高宮 麻佑さん（黒羽中）
 - 商2の1 桐島 遥さん（結城中）
 - 普1の1 丘 安里さん（三島中）
 - 普1の3 杉浦 百佳さん（国分寺中）
 - 普1の4 静井果奈美さん（桑中）
 - 文1の1 和田 楓佳さん（金田南中）
 - 文1の3 福田 果純さん（桑中）
 - 文1の4 川田 充希さん（白鷗中）

女子ソフトテニス部
全国選抜ベスト16

1月14日に行われた関東選抜ソフトテニス大会で準優勝した本校は、3月28日～30日、名古屋市日本ガイシホールで行われた全日本高等学校選抜ソフトテニス大会に2年連続13回目の出場を果たしました。

初戦（2回戦）は九州地区代表の博多女子高校に2対1で勝利しました。3回戦は、第4シードで北海道地区代表の札幌龍谷高校との対戦となり、3番勝負までもつ

水泳部 100メートル競泳0.6秒に近づく

2月19日、栃木県立温水プール館において、第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会栃木県予選会行われ、文2の3細澤知弘君（小山中）が100m自由形、文1の4中根千聖さん（足利一中）が1000m平泳ぎ、400mメドレーリレーに文2の2高村光希君（明治中）

れるものの1対2で敗れ、惜しくもベスト8進出はなりませんでしたが。この経験を生かし、チームは夏のインターハイに向けて歩んでいきます。応援して下さいました。多くの方々、ありがとうございました。

【出場メンバー】
 普2の1 酒井 香乃さん（杉戸中）
 普2の4 鈴木 暖さん（取手一中）
 普2の5 坂本 奈砂さん（館林四中）
 文2の1 高橋のぞみさん（玉造中）
 文2の4 馬場かおりさん（下妻中）
 普1の2 福田真由子さん（今市中）
 普1の3 堀口 賀代さん（塚沢中）
 文1の2 大貫真比呂さん（藤岡二中）

文2の2菊地秀幸君（毛野中）
 文2の4松下侃太君（毛野中）
 細澤君が出場し、見事標準記録を突破して、本大会への出場権を獲得しました。

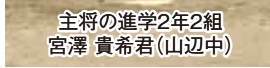
3月30日、東京辰巳国際水泳場において、本大会が開催されました。結果は全種目とも予選敗退となりましたが、100m自由形に出場した細澤君は、0.9秒差で決勝進出を逃すという悔しい思いをしました。インターハイよりもレベルの高い今大会での経験を教訓として、夏の県総体で団体優勝（三連覇）と関東大会での表彰台、そしてインターハイでの決勝進出を目標として日々努力してまいります。応援ありがとうございます。



大会会場にて

男子ソフトボール部 全国選抜大会

3月18日～21日、福岡県北九州市ひびきコスモス運動場で、第35回全国高校選抜大会が開催され、本校は3年連続の出場を果たしました。



主将の進学2年2組 宮澤 貴希君（山辺中）

初戦の相手は、5年連続で優勝チームを出している長崎県の代表である大村工業高等学校でした。先発は進2の1齊藤磨輝君（足利三中）でした。二回に四球が集中し、エラーなども重なり8点を失いました。打撃においても相手のエースを含む投手2名にノーヒットとなり、結果として0対13、五

柔道部 優勝候補と紙重！武道館で得た手応え

3月19日・20日、日本武道館において、第39回全国高等学校柔道選手権大会が開催され、本校からは団体戦で6名、個人戦で3名が出場しました。

団体戦では1回戦、山口県代表の高川学園と対戦しました。普2の4長島斥弥君（足利一中）が4人抜きをする活躍を見せ、勝利に導きました。2回戦、優勝候補の一角である愛知県大成高校と対戦。先鋒戦から一進一退の攻防が続き、両チーム大将戦でも勝敗がつかず、代表戦に突入しました。

代表戦では本校主将の普2の5吉田功二君（大山口中）が奮闘するも引き分け。延長戦の末、勝負に出たところを切り返され、僅差での敗戦となりました。

個人戦では、あと一歩及ばず残念な結果に終わりましたが、出場選手の3名は1年生。今回の経験を生かし、今後の活躍が期待されます。



団体戦一本勝ちした 普通2年1組 岩瀬 裕希君（足利協和）

書道部 書の甲子園に2名入選

10月13日～16日、「書の甲子園」とも言われる第25回国際高校生選抜書展（毎日新聞社・毎日書道会主催）の審査会が行われ、北魏の古典である「賀蘭汗造像記」を臨書した総3の2尾花真梨江さん（田沼西中）と、唐の「祭姪文稿」を臨書した総2の3齋藤璃子さん（板倉中）の2名が入選しました。国内外16836点の作品のうち、入賞入選作品は2100点でした。



総合コース 2年 3組 齋藤 璃子さん（板倉中）



総合コース 3年 2組 尾花 真梨江さん（田沼西中）

本校舎トピックス

商業コース・総合選択コース インターシップ

10月25日～28日の4日間にわたり、商業コースと総合選択コースの2年生を対象としてインターシップが実施されました。事前に宇都宮ビジネス電子専門学校の前田石校長先生によるマナー講座を受講し、インターシップの意義や働く上で気を付けなくてはならないことなどを学び、インターシップに臨みました。



給食センターでの実習

商業コースでは、スーパーマーケットや小売店での販売や金融関係やホテル、総合選択コースでは、足利市役所や足利学校、保育所、工場などを中心に実習を行いました。自分の将来を見据えて実習先



佐藤金属での実習

を選び、積極的に取り組みました。慣れない業務に不安もありましたが、実習先の方々の丁寧な指導のおかげで、働くことにやりがいや楽しさを感じ、責任の重さも実感することが出来ました。

後輩たちに向けてのインターシップ報告会では、自分たちが経験したことを、パワーポイントを使って発表しました。この発表を通して、学んだことが少しでも後輩たちに伝わることを願っています。

普通・商業・総合選択コース 合唱祭

11月9日、普通・商業・総合選択コースの1年生計8クラスがマールベリー音楽ホールで、それぞれ

の思いを胸に合唱を披露しました。今年度も、J-POPを課題曲に設定し、各クラスの個性を存分に発揮した合唱祭になりました。コースによつては、全員での音楽の授業がないクラスもありましたが、放課後に時間を作り、毎日計画的に練習を行いました。合唱祭当日の明るい表情でのびのびと歌う生徒たちの姿が印象的でした。

修学旅行・沖縄 普2の4 小松原 麻有(藤岡中)

修学旅行で沖縄に行く前、私はただ楽しむことを考えていました。もちろん行ってみると海もきれいだし、食べ物も美味しいし、楽しかったです。でも、2日目の平和学習では深く考えさせられました。



平和記念公園

日本で唯一の地上戦が行われた沖縄の地で、私はたくさんのことを学びました。米軍との戦いに住民が巻き込まれ、多くの人が命を落としたこと。殺し、殺されるのが当たり前になり、米軍に見つからないように泣き声を上げる子どもを殺すように命令されたこと。また、逃げ場をなくし

結果は次の通りです。

- 最優秀クラス賞 商業コース2組
- 優秀クラス賞 普通コース1組
- 審査員特別賞 商業コース1組
- 最優秀指揮者賞 商1の2 松本 愛佑莉さん(霜降中)
- 普1の4 國府田 一樹君 (小山中)
- 最優秀伴奏者賞 総1の2 柏崎 奈津実さん(桑中)

て断崖から飛び降りて自害した人もいたこと。人をこれほどまでに追い込み、狂わせる戦争の恐ろしさは言葉では言い表せません。

今でも沖縄にはフェンスの向こうに米軍基地があります。いつも危険と隣り合わせの沖縄ではまだ平和だとはいえません。この沖縄の問題も世界中でいまだに続いている戦争も、自分たちの問題として考えなくてはならないと思いました。

修学旅行・台湾 文2の2 野原 亜実(田沼西中)

3月5日～8日の修学旅行で、総統府、中正記念堂、国立故宫博物院、忠烈祠、台北101タワー、九份、野柳海岸、流山寺など、有名な観光地を訪れました。

その中で特に印象に残ったのは、九份です。九份は「千と千尋の神隠し」のモデルの地です。二つ目は忠烈祠です。そこでは、立って



合唱祭

いる時は直立不動で瞬き一つしない衛兵の交代式にとても感動しました。観光地だけでなく、食べ物も印象に残っています。台湾で人気No.1のお店で食べた小籠包が一番美味しかったです。

初めての海外旅行で不安もたくさんありましたが、台湾の人がとても優しく、日本語も多少通じたので最初は緊張していた自由時間も、最後のほうでは楽しんで行動できました。そして普段の生活では関わる機会があまりない他の



2日目、国立故宮博物院で

コースの人たちとも仲良くなることができました。友達とたくさん思い出を作り、充実した4日間でした。

富田キャンパスストピックス

修学旅行

11月に、富田キャンパス2年生の修学旅行が行われました。今年度は国際情勢を考慮してアメリカコースが実施されなかったため、沖縄・関西コース、沖縄・石垣コースの2コースから各々が希望するコースを選択しました。



石垣島 川平湾にて

のマリン体験や、シーサー作りなどの郷土体験を行いました。その後関西に渡り、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで友人との楽しい時間を満喫しました。京都大学

では学生の案内で見学を行い、進路選択について考える貴重な機会を得ました。

沖縄・石垣コースでは初めに石垣島を訪問し、大自然の中でシュノーケリングとマングローブカヌーに挑戦しました。竹富島では、赤瓦の伝統的な家屋が建ち並ぶ集落を散策しました。その後本島に渡り、首里城や沖縄平和祈念公園などを訪れ沖縄の歴史と文化を学びました。

どちらのコースにおいても、多くの生徒が最も印象に残ったこととして挙げているのは、平和学習



お好み焼きを堪能

でした。実際に戦争を体験した方の貴重なお話を伺い、ひめゆり平和祈念資料館では、ひめゆり学徒隊の一員だった少女たちの写真や当時の先生方が書き残した文章を、

足利リビルドの会講演会



足利源氏について語る 川田先生

2月9日に富田校舎のシーガルホールにおいて、足利の地域活性化を目的とした市民団体である「足利リビルドの会」の川田享男氏、吉澤菊男氏、亀山義弘氏をお招きして、「足利源氏ものがたり」と題した講演会が開催されました。足利市における貴重な文化や文物、そして、足利市と足利源

氏の歴史的な深いつながりについてのお話には、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

足利市の近隣に住む生徒たちにとっては、親しみやすい話題であり、足利市の持つ歴史的な重要性や、足利源氏の関係図など、映像を交えた内容に、多くの生徒たちが興味・関心を高めていました。

これからの時代を支える生徒たちが、歴史学の面白さや地域文化の大切さに触れることによって、今後の地域活性化に向けての積極的な姿勢を持つことができたと思います。

今回の講演で得た貴重な知識を生かして、地域をよりよくするために活躍する人材が、本校から出ることが期待されます。

囲碁将棋部紹介



練習の様子

囲碁将棋部は「棋力の向上」を目指し、講師の前田先生のご指導の下、毎週月曜日と木曜日に6号館の特別資料室で活動しています。一昨年末では「気軽に楽しく」のんびりとした雰囲気がありました。

が、昨年から県大会に出場するなど「闘う部活」へと、生徒の気持ちが変わってきました。今年度は春と秋の栃木県高文祭・将棋大会、秋の新人大会、段位認定大会に出場しました。上位大会への出場権を得ることはできませんでしたが、個人戦では2回戦、3回戦に進出した生徒もいました。

11月に行われた段位認定大会では、初段の部でも苦戦を強いられましたが、二段の部で3勝した生徒もいました。対局後に行われる感想戦では、対戦相手に戦術を教わったり、他校の生徒と交流を深めたりする姿も見られました。囲碁・将棋の楽しさと奥深さを追求し、更なる「棋力の向上」を目指します。

センター試験応援

時間を忘れて食い入るように見つめている姿が多く見られました。日頃の学校生活では得られない体験を通して、仲間との友情を深めることができ、思い出に残る修学旅行となりました。

1月6日・7日に富田校舎で行われたセンター試験直前模擬演習に、97名の生徒たちが参加し、センター試験当日と同じ時間割で志望校合格を目指して問題に取り組みました。自己採点を通して、弱点の確認をすることで、センター試験に向けての決意を新たにしました。

1月14日・15日には、雪が舞い散り凍つく寒さのもと、大学入試センター試験が行われました。富田校舎・本校舎合わせて210名が試験に臨みました。会場の足利工業大学前では、教員の激励を受け、緊張の面持ちで試験会場に入っていく生徒の姿が見られました。



正門にて

スーパー・サイエンス・ハイスクール活動報告

生徒研究発表会

12月17日に、富田校舎シーガルホールにてSSH生徒研究発表会が実施されました。この発表会では、2年生が今年度の4月から、



スラバ発表の様子

行ってきた研究や調べ学習の中間報告を行うことで、生徒同士が切磋琢磨し、より一層科学に関する興味・関心を向上させていくことを目的としています。SSH指定校として4年目を迎えた今年度は、発展的な内容を含む研究発表も数多くありました。身近な現象に焦点を当て、そこから生まれた疑問をもとに研究内容を決定したため、意欲的に研究活動に励んでいるグループが多く、発表会に向けて放課後遅くまで実験を行ったり研究結果をまとめたりする様子も見受けられました。研究結果が得られ

るたびにグループ内で活発に意見交換を行ったことが、研究内容のより深い理解に繋がったようであり、質疑応答では、専門的な内容の質問に対して的確に答えることができていたように思います。また、「カラスの食と色覚」という研究グループの発表に興味を持った生徒が多かったことから、身近な話題に関心が高いことがうかがえます。



全体会の様子

東京大学訪問

12月26日に、来年度の進学コース理系希望の1年生と特別選抜コースと中高一貫教育コースの1年生全員を対象にSSH東京大学訪問が実施されました。

午前はキャンパス内を自由見学し、生徒たちは赤門で記念撮影をしたり、本郷キャンパスの中央食堂で昼食をとったり、有意義な時間を過ごしました。午後は、農学部がある弥生キャンパスの弥生講堂において、東京大学農学部の説明を受けたあと、4名の先生方に



講演の様子

よる講演を聴講しました。最初の講演である「ペットの行動学入門」では、犬や猫と一緒に暮らす上で知っておきたい行動特性について学びました。講演の途中でクイズが出題され、生徒たちは意欲的に参加していました。「身近な生物多様性」の講演では、生物多



時計台前にて

様性が失われている現状を示した上で、食料や医薬品などの身近な題材をもとに、私たちの生活と生物多様性のつながりについて、お話ししてくださいました。また、これらの他に「植物はどうやって周

した。科学研究講座においてご指導・ご協力くださった大学の先生方や地域の方々に感謝し、5年間のSSHの締めくくりとなる来年度に向けて、より一層研究活動を発展させ、充実させていきたいと思っております。

<発表一覧>

- (1) 足尾帯のマンガン層形成史
- (2) プログラミング～ゲーム製作～
- (3) 身近にひそむ細菌たち
- (4) 植物に対する乳酸菌の影響
- (5) ホウレンソウの花成と植物ホルモンの関係
- (6) Raising the Birthrate in Sheep Through IPS Cell Transplantation
iPS細胞移植済みヒツジ胎児の出生率向上について
- (7) 渡良瀬遊水地の絶滅危惧種
- (8) 足利再興計画～スクールリノベーション編～
- (9) 気孔の開閉に関する環境要因
- (10) 火力発電におけるエネルギー効率
- (11) The Importance of Numbers
- (12) 深海掘削から分かる地球のしくみ
- (13) 飛行機の技術について
- (14) プロ野球データ論
- (15) ピーマンの苦みと加熱処理法
- (16) 水陸両用車の開発
- (17) フクロウの生態調査
- (18) 小麦粉の種類とカビ
- (19) カラスの食と色覚

白鷗大学・群馬大学講演

の面白さを感じた生徒が多かったようです。

12月13日に、シーガルホールで、白鷗大学教育学部のジェフリー・ミラー教授による講演が行われました。内容は、科学の英語長文を読解するもので、ミラー先生は、ジェスチャーを交えながら積極的に生徒とコミュニケーションをとっていました。これまでの講演とは異なり、英語で科学を学ぶこと

また、2月21日には、群馬大学医学部保健学科看護学専攻の藤本桂子助教授による講演が行われました。演題は「がんを知ろう」で、がんという病気とは何か、そしてその要因と予防について詳しく説明してくださいました。日本人の2人に1人はがんになるとい話に、生徒たちは驚き、「がん」への関心も高まったようです。



ミラー教授による講演

りの植物を認識しているか」や「トウキョウウサンショウウオの好きな場所」についても講演されました。どの講演においても、生徒たちが活発に質問をする様子が見られ、多くのことを学んだ貴重な経験となったようです。

PTAだより

白鷗のびとく世界に羽ばたけ

PTA会長 西場 伸一



卒業生の皆さん、保護者の皆様
御卒業おめでとうございます。

「白鷗大学足利高等学校」で学んだ、3年間の思い出が数え切れないほど、浮かんでいる事と思います。これからは高校生活で培った「PLUS ULTRA」の理念と、諸先生方から教えを受けた技術や知識を生かして社会人として、

— 生徒会役員決定 —

生徒会は、11月1日の認証式をもって発足しました。生徒会メンバーは、本校舎11名、富田校舎9名の計20名です。昨年から経験者は2名だけで大半が新メンバーです。しかしながら、一人ひとりが皆やる気に満ち溢れています。「自分たちの学校をより良くする」との想いが強く、新たな活動を幾つか立ち上げようと考案中です。登校時の挨拶運動や生徒会新聞「団欒」の発行、ボランテ



本校舎生徒会役員

- 会長 文2の4 小林弘明(太田北中)
- 副会長 文2の3 塩澤光輝(乙女中)
- 文2の4 田中壽琴(板倉中)
- 普1の4 上武隼大(田沼西中)
- 議長 文2の1 松崎晴香(笠懸中)
- 副議長 文1の4 野崎祥子(サツキビル)
- 書記 普1の2 森 彩乃(三和北中)
- 普1の2 別府玲奈(境野中)
- 普1の2 鶴見侑奈(葛生中)
- 会計 商1の2 鶴見侑奈(葛生中)
- 会計監査 商1の1 岡 百香(田沼西中)
- 商1の1 川上いすみ(佐野城東中)



富田校舎生徒会役員

- 副会長 進2の4 山口慶喜(太東中)
- 議長 進2の2 山田峻士(白鷗定利中)
- 副議長 進2の1 植野 碧(小山三中)
- 書記 進2の1 早川友菜(白鷗定利中)
- 進2の3 安田昂平(乙女中)
- 進2の1 仁木愛菜(協和中)
- 進2の1 秋山柊太(白鷗定利中)
- 進2の1 久保寺慧(白鷗定利中)
- 会計監査 進2の3 安田昂平(乙女中)
- 特選1の1 秋山柊太(白鷗定利中)
- 中高一の1 久保寺慧(白鷗定利中)

そして学生として大きな夢に向かって前進して下さい。

20世紀に生まれて21世紀を育ってきた卒業生、そして在校生の皆さんが活躍される社会は、国際化、グローバル化が進み、一つの国や地域という小さな世界で物事が解決する時代ではなくなっています。

皆さんのまわりで、大勢の外国の方たちが学校での勉学に励み、会社での仕事に取り組んでいらつしやる姿を目にされた事があるかと思えます。逆の立場で考えてみると、皆さんの先輩や知り合い

足利市内高等学校 芸術鑑賞会

11月16日に、足利市民会館で本校舎の全学年を対象とした芸術鑑賞会「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」が開催されました。いことにも臆することなく積極的にチャレンジしていくつもりです。創立100周年を迎えた歴史と



軽やかなメロディーを奏でる高嶋ちさ子さんとヴァイオリニストたち

編集後記

日本の選挙権年齢の引き下げや、イギリスのEU離脱、アメリカのトランプ政権誕生にみられる自国第一主義の台頭など、これまでの固定概念を覆すような大きなうねりが渦を巻いています。そのような中、受け継いできた100年から、これからの100年へと大きく舵を取った本校の歴史の証人でもある586名の卒業生たちが、それぞれの新たな目標に向かって果立っていました。

たとえ逆境にあっても、歴史や伝統を大切にしながら新しいことに挑戦し、さまざまな分野で、パオニアとなる力を秘めた卒業生たちにエールを送ります

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行・白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-41-0890
制作・(有)コーエイプロセス
発行日・平成29年3月31日